

東京都主催 地域福祉の推進に向けたシンポジウム

自治体ごとの包括的な支援体制づくりに向けて

日本社会の変化や個人の人生の多様化の中、地域では様々な生活困難に直面する人々が増大している。互いを慮り支え合う地域、誰もがかけがえのない存在として承認され、居場所と活躍の場を持てる地域は、この国の礎であり活力の源である。そのような地域づくりのために、福祉の対人支援に求められるのは、一人ひとりの個別のニーズや様々な生活上の困難を受け止め、自律的な生活を継続していくことを支援するという視点である。

(出所：令和元年12月26日「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会（地域共生社会推進検討会）」最終とりまとめ)

区市町村は、社会福祉法（第106条の3）において、地域生活課題の解決に資する包括的な支援体制を整備するよう努めることとされており、国は、こうした区市町村における包括的な支援体制を構築するための手法のひとつとして、令和3年4月に「重層的支援体制整備事業」を創設しました。

今回のシンポジウムを通じ、参加者一人ひとりが包括的な支援体制づくりに向けて、考える機会とするとともに、意見交換を通じて学びを深める機会としていただけたら幸いです。長時間になりますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時

令和7年5月16日（金曜日） 10時15分～17時00分（10時～入場可）

※飲食については、原則禁止ですが、ホール内で発生したゴミを持ち帰りいただくことにより、了解をいただいております。

開催場所

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター8階 大ホール（JR市ヶ谷駅から徒歩1分）

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-ichigaya/access/>

出席者

都内区市町村職員、区市町村社会福祉協議会職員 計160名

※終日参加のみならず、「午前のみ」「午後のみ」の参加も受け付けます。ただし、途中参加、途中退席はお控えいただきますよう、お願いいたします。

※参加者による会場での録音、録画、写真撮影はできません。

参加費

無料

申込方法

専用フォーム（外部サイトへリンク）から、お申し込みください。



フォームの URL (インターネット)

<https://logoform.jp/form/tmgform/1002712>

資料送付

専用フォーム（外部サイトへリンク）に記載いただいたメールアドレスに、開催前日までにお送りいたします。**事務局では、講演資料の配布はしませんので、必ず、プリントアウトしてご来場ください。**また、会場のコンセントは使用できません。

ネームプレート

会場では、ご自身が普段使用されている**ネームプレートを着用**いただきますよう、お願いいたします。

スケジュール

| 時間 | | テーマ | 講師（敬称略） |
|-------------|----|--|---|
| 10:00 | - | 受付 | - |
| 10:15-10:30 | 15 | 開会 | 東京都福祉局生活福祉部企画課 |
| 10:30-12:00 | 90 | 行政説明「包括的な支援体制の整備について」(仮) —包括的な支援体制整備の位置づけや、整備にあたって実施していただきたいこと（地域住民のニーズや地域資源の把握、地域住民を含む幅広い関係機関等との検討等）等の説明— 【厚生労働省説明 60分+意見交換 30分=90分】 | 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 地域共生社会推進室 |
| 12:00-13:00 | 60 | 休憩 | - |
| 13:00-13:50 | 50 | 講演「身寄り問題の現状・課題 身寄りのない高齢者等に対する必要な支援の在り方」(仮) 【講演 30分+質疑応答 20分=50分】 | 講演： 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト 沢村 香苗 コーディネーター： 社会福祉法人立川市社会福祉協議会 総合相談支援課長 山本 繁樹 |

| | | | |
|-------------|----|--|---|
| 13:50-14:50 | 60 | 講演「超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」の開発ー社会的孤立を解決するための大切なヒントに気付くことー」 (仮) | 一般社団法人コレカラ・サポート 代表理事 千葉 晃一 副代表理事 影山 貴大 |
| 14:50-15:05 | 15 | 休憩 | - |
| 15:05-15:35 | 30 | 講演「稲城市の包括的な支援体制ー重層的支援体制整備事業を活用したチーム支援ー」 | 稲城市福祉部生活福祉課地域福祉係 生活相談担当 副係長 菅野 遥奈 社会福祉法人稲城市社会福祉協議会 主任 佐藤 彩 |
| 15:35-16:35 | 60 | 意見交換会 | - |
| 16:35-16:55 | 20 | まとめ | コーディネーター：東京都立大学人 文社会学部人間社会学科 准教授 室田 信一 |
| 16:55-17:00 | 5 | 閉会 | 東京都地域福祉支援計画推進委員会 |

※時間、講師については、変更する場合があります。

参考情報



株式会社日本総合研究所創発戦略センター シニアスペシャリスト 沢村 香苗

研究・専門分野 高齢者心理学、消費者行動論

注力テーマ 高齢期～終末期の QOL 向上および意思決定支援手法の開発

「人生 100 年時代のパートナー 自分のデジタルツイン subME」

「おひとりさま高齢者」の自律的生活支援研究会 SOLO Lab」

(出所 <https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=26187>)



出版社 幻冬舎

出版日 2024 年 7 月 30 日

価格 ¥990 (税込)

目次

第 1 章 高齢者を支える制度は、何を見落としてきたのか

第 2 章 公的制度からこぼれおちる「老後ひとり難民」たち

第 3 章 「老後ひとり難民」が“死んだあと”に起きること

第 4 章 民間サービスは「老後ひとり難民」問題を解決するのか

第 5 章 「老後ひとり難民」リスクの高い人がすべきこと

超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」(一般社団法人コレカラ・サポート)



超高齢社会体験ゲーム
コミュニティコーピング

高齢化に伴い地域の中で支援が届かずに悩みを抱える人に対して、人や地域資源をつなげることで、悩みを解消し社会から孤立することをなくすことができる。

私たちは、その大切さと気づきを“体感する”ことができるゲーム「コミュニティコーピング」を開発しました。

みんなで孤立をなくせ!
超 高齢社会体験ゲーム

コミュニティコーピング
COMMUNITY COPING

コレカラ・サポート HP : <https://koresapo.net/>

コミュニティコーピング公式ページ : <https://comcop.jp/>

問合せ先

東京都福祉局生活福祉部企画課 藤原・森田・桑原
電話 03-5320-4062 (直通)